

# 第4回 玉名市景観計画策定委員会 議事録（概要）

## ■開催日時・場所

平成27年6月18日(木) 15時00分～17時00分

玉名市役所2F 2-2会議室・2-3会議室

## ■次第

1. 開会あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 報告  
(1) 第3回策定委員会について
4. 議事  
〔議題1〕今後のスケジュールについて  
〔議題2〕玉名市の景観のビジョンと景観形成方針について
  - (1) 玉名市が目指す景観ビジョンと方針
  - (2) 景観計画区域と景観形成方針
  - (3) 景観推進重点地区と景観推進準備地区（案）
5. その他
6. 閉会

## ■配布資料

1. 第4回 玉名市景観計画策定委員会次第
2. 【資料1】第3回策定委員会議事録
3. 【資料2】玉名市景観計画策定スケジュール
4. 【資料3】第4回 玉名市景観計画策定委員会-玉名市の景観のビジョンと景観形成方針-

## ■会議風景



■出席者名簿

継承略・順不同

※名前の後ろに ◎：委員長、○：副委員長

区分	所属	役職	氏名	出欠席
学識経験者	崇城大学	教授	秋元一秀◎	○
学識経験者	熊本大学	准教授	田中尚人○	○
市議会議員	玉名市議会建設経済委員会	委員長	福嶋讓治	○
関係団体	熊本県建築士会あらたま支部	運営委員	楠本英弘	○
関係団体	玉名商工会議所	-	羽山眞澄	○
関係団体	玉名市商工会	観光部会長	森山耕治	○
関係団体	(一社)玉名観光協会	事務局長	柿添克也	○
関係団体	玉名市農業委員会	農業委員	本田多美子	○
関係団体	玉名市文化財保護審議会	副会長	前川清一	○
関係団体	高瀬まちづくり協議会	会長	矢田部知明	○
関係団体	玉杵名フォトサークル	副会長	坂本良臣	○
公募	一般公募	-	森辰興	○
公募	一般公募	-	津崎五記	○
行政	熊本県北広域本部	景観建築第一課長	北原宏	○
行政	熊本県玉名地域振興局	維持管理調整課管理総務班長	堀口彰史	○
事務局	玉名市建設部建設課	建設課長	松野政宏	○
事務局	玉名市教育委員会文化課	課長補佐	竹田宏司	○
事務局	玉名市建設部建設課	係長	神永和典	○
事務局	玉名市建設部建設課	参事	森田文子	○
事務局	玉名市建設部建設課	主任	川原三世子	○
支援事業者	ランドブレイン株式会社	福岡事務所	山田快広	○
支援事業者	ランドブレイン株式会社	広島事務所	鈴木将光	○
支援事業者	ランドブレイン株式会社	広島事務所	駒井達也	○

## ■議事録

### 1. 開会あいさつ

---

(事務局から開会のあいさつが行われた)

### 2. 委員長あいさつ

---

委員長	本日は玉名駅から歩いてきた。市役所の跡地がどのようになったかを確認しに行った。昨年までは人がいた風景であったが、人がいなくなると、保育園のほうにあった巨大な木が圧倒的な存在感を放っていた。目に映るものは同じでも、ちょっとした要素で景観は変化することに気づいた。今回の景観計画はそういったものを扱っているという実感を持った。よろしくお願ひしたい。
-----	--

### 3. 報告

---

(説明：事務局)  
資料説明記録省略

### 4. 議事

---

#### 〔議題1〕今後のスケジュールについて

(説明：事務局)  
資料説明記録省略

委員長	当初の予定より、委員会が1回増える形となる。私自身も危惧をしており、今後、様々な決まりごとをつくっていく中で、もう1回ほど、議論をする時間が必要だと考えている。スケジュールについて、ご意見があれば頂きたい。
-----	---

(意見なし。委員会の回数を4回から5回へ増やすこととなった。)

#### 〔議題2〕玉名市の景観のビジョンと景観形成方針について

##### (1) 玉名市が目指す景観ビジョンと方針

(説明：事務局)  
資料説明記録省略

委員	景観ビジョンの副題に「石」とあるが、これはどのような意味なのか。
委員	ここで示す石は堤防や石棺を表しているかと思うが、この「山・水・石」に違和感がある。副題には「菊池川」と明確に記載するほうが、玉名らしいのではないか。また、「守り」と記載があるが、これも「育て」にすべきではないか。また、この「市民」という記載もいらないと考える。
事務局	この「石」という記載は、高瀬の石橋や天水のみかん畑の石積み、他干拓等、玉名の特徴的な景観だと捉え、提案している。あくまで案なので、皆様にご議論頂きたい。

委員	「育て」と「つくり」は重なる部分がある。「育て」を題名に入れるのであれば、「守り」より「つくり」のほうを変更してはどうか。
委員長	ほかに副題等で玉名らしい言葉があれば、ご意見を頂きたい。
委員	まず、このビジョンの題名が何を表している言葉なのか、何に向けての言葉なのかがわからないのだと思う。その辺を明確にするための議論が必要なのではないか。次に、ビジョンの題名としては、長すぎると思う。書きすぎない方が良いのではないか。最後に、この題名が方針と繋がらなければならない。ここが印象良く繋がるようなビジョンにするべきだと思う。
事務局	ここで掲げるビジョンは、「まちの将来像」を表している。
委員	副題は必要ないと思う。また、「玉名」という記載は、題名内に必要ないと思う。
委員	やはり文章が長いと思う。特に副題は必要ないと考えている。
委員	玉名の景観を一言、二言で語るのは難しい。事務局は苦労したと思う。玉名の景観を表す良い文章はないか。
委員	玉名市のブランドメッセージである「キラリかがやけ玉名」みたいな端的な文章が良いのではないか。
委員	「市民が語れる」という文章に違和感がある。「誇れる」のほうが適切なのではないか。また副題は必要ないと思う。「山・水・石」が入るのであれば「土」も入るかと思う。
委員長	何らかの玉名の景観の特色を言い表す言葉を探すという部分が議論の課題かと思う。何か適切な言葉やアイデアがあればご意見いただきたい。
委員	ビジョンの説明文に、江戸期の大阪への水運は、大きな歴史的事象なので、「水運」を入れていただきたい。また、「温泉」に関する記述も付加をして欲しい。 ビジョン図内の「守る・育む」欄にある「自然景観、文化財、歴史的なまちなみを保全する」という文章は、「調和した」という文章を入れて、工夫したものにすれば良いのではないか。
事務局	このビジョン図内の文章は皆さんの意見から抽出し、そのまま記載している。計画に記載する際は工夫した文章に変更する。
委員長	続いて景観方針について意見はないか。
委員	集落は水が非常に重要であり、川を原点に集落が出来てきている。これまでの石の文化についても原点は菊池川にある。そのあたりの歴史性も含めて検討したら良いと思う。 眺望点の設定について、具体例があるが、展望公園はげんやま展望公園のことかと思う。桃田公園の天展望からの眺望は、高瀬から晒まで見渡せる。展望デッキまで設置されているので、考慮して入れ込んで欲しい。

## (2) 景観計画区域と景観形成方針

(説明：事務局)

### 資料説明記録省略

委員長	ご意見頂きたい内容として、1点目に、景観計画区域を市全域としており、その中でエリアわけをしている。このエリア分けについて議論頂きたい。2点目に、エリアごとの概要を示しているが、その内容について、ご意見頂きたい。3点目に、幹線道路景観や眺望点について概要を示しているのご意見を頂きたい。
委員	景観計画区域の範囲が広いと感じた。これまでの現況の材料を踏まえて重点地区を考えるということだと思う。景観をつないでいくという視点が大事だと思う。
委員	草枕についての記載はどこにあるのか。前田家墓地が草枕なのか。
事務局	前田家墓地は夏目漱石が描いたとされる「わが墓」という絵がある。そのモデルの地がある。
委員長	エリアとしては、みかん畑・集落景観ゾーン内に含まれている。
委員	山の上展望公園は干拓景観に含める形で良いのではないか。
委員	景観計画区域の範囲としては、限定することは難しい。全域で異論はない。
委員	JR在来線が含まれていない。入れるべきではないか。
委員	JRの在来線はつなげるという視点で重要だと思う。
事務局	新幹線については、新幹線からの田園風景整備や各取り組み等があり、その中での景観づくりを施策として掲げているため、景観特性として含めていた。 在来線についても確かに入れておいたほうが良いかと思う。
委員	この広い範囲で、どのくらいの規制や方針をかけていくつもりなのか。
事務局	玉名市の景観を見直すということになるが、規制は重点地区のみとなる。他のエリアは特長を伸ばしていくという考え方である。
委員	駅前景観という視点もあるので、JR在来線については大切な考え方かと思う。 また、景観の区域線が実線になっているが、景観は連続的なものであり、隣市ともつながっていくという見方から、区域線をにじませると良いかと思う。 他市との連携は重要な要素であるので、区域線をにじませる形の表現としたい。
委員	東側に資源が多いが、西側は少ない印象を受けた。また、日獄が方針の中に入っていないので、付加して欲しい。ここでは、住民団体が景観を良くみせるための森林整備を行っている等、景観課題の解決に向けた取り組みを重点的に行っている。
事務局	山林・集落景観ゾーンの小岱山系に含まれているので、名称を記載する。
委員	前田家墓地の記述は歴史的に重要な資源であるため、全面に出していく、付加していても良いのではないか。

委員 長	区域別方針について、何かご意見はないか。
委員	市街地景観ゾーンについて、新玉名駅のほうに目が行きがちだが、これまで玉名駅の市街地を形成してきたのは、玉名駅であり、現在も高校生が沢山利用しており、元気のある駅である一方、商店街は衰退している。これも景観と一緒に、玉名市民の意識の問題だと考えている。今後考えなければいけない課題として入れるべきだと思う。
委員	玉名駅周辺の商店の約半分はシャッターを降しており、活気がない。まちなみも考えなければならない。
委員	玉名市がどこに位置づけられているのか、歴史性を分かりやすく示すように、もう少し広域的な地図があれば良いかと思う。
委員	有明海は景観として重要な要素となるが、海に関してエリア分けをする必要があるかどうか。
事務局	文化庁は文化的景観として、有明海も位置づけられているので、含める方法で考えていけたらと思う。
委員	教育施設の景観保全が必要になってくる。登録文化財の関係もあるので、これを取り上げて欲しい。
委員 長	この後、重点地区として、景観上重要な部分についての取り上げ方を検討するので、その中でも議論したい。
委員	みかん畑の景観で、前田家墓地を取り上げるのが難しい。どのような位置付けにしていくのか。
委員	目に見えるものと、目に見えないものを組み合わせて景観計画をつくろうとしている歴史的遺構としても重要として捉えると良いのではないかと。玉名の景観を語る上で重要な要素と捉える。
委員	資料 3 に「果樹栽培の振興や担い手確保」とあるが、これについては、担い手確保・定住に関する様々な施策との連携を考えて欲しい。
事務局	景観は多様な分野に関わることなので、庁内部会でも、様々な課と議論をしている。
委員	景観を継承して、保つためにも、空き家の利活用の方策も全国的に考えられていくかと思う。
委員	横島は干拓地エリアに入れても良いのではないかと。
委員	玉名の景観が良くなることで、農村が元気になったということが、地方創生のモデルになる。そういったアイデアを商工会からも出してもらい、成功事例をつくっていくことができれば良いと思った。
委員	山林・集落景観ゾーンに山の上展望公園が入っているが、出来れば干拓ゾーンに入れてもらいたい。天水地区の一部もの歴史的には干拓地に含まれる。
事務局	山の上展望公園（横島山）については、干拓という歴史の中に位置づけたほうがわかりやすいかと思う。

委員	天水地区の一部が干拓地と言われたが、地元に住んでいるが、干拓というイメージはない。
委員	地元の人々は干拓景観だと認識できないと思う。何もかも歴史と紐付けるのも少し危険だと思った。
委員	田園と干拓エリアは一緒に重ねて考えて良いのではないかと。景観の重層性が玉名の良いところだと考えている。
事務局	大浜が田園に分類されている点が違和感を感じる。
委員	ゾーンの境界線は、ここまで細かくわかる必要はないのではないかと。ゾーンが重なる箇所も出てくるかと思うので、もう少し大まかな分類でも良いかと思う。
委員	まつりのお話が入っていない。計画内に記載があった方が良いかと思う。
委員	景観と密接に関係のあるものなので、少なくとも、アクションプランに入れるべき内容であると思う。

### (3) 景観推進重点地区と景観推進準備地区 (案)

(説明：事務局)

#### 資料説明記録省略

委員	重点ポイントとしては天水の眺望含め、示していただいた資料に記載されている程度で良いのではないかと考えている。
事務局	どこの眺望ポイントから見たら一番きれいだと思うか。
委員	熊ノ岳からの眺望が最も良いかと考えている。
委員長	今回の議論は、景観推進重点地区である。建物の高さや色彩等の規制を縛る地区についてどこが良いか、ご意見頂きたい。
委員	高瀬が良いのではないかと。景観形成住民協定を締結しており、20軒程度の賛同を得ている。13件の修景事業の取り組みや、派手な色を抑えた景観づくりもしている。熊本景観賞も受賞していることから、移行しやすいのではないかと。
委員長	高瀬以外にどこか重点地区に位置づけるような場所はないか。
委員	新玉名駅前等が考えられる。花しょうぶまつりの際に、この祭り以外にどこか良い場所はないか、観光客に聞かれたが、咄嗟に答えられなかった。
委員	錦橋から繁根木川の景観が非常に悪いと思う。今後整備する際は景観的なデザインに配慮して整備をしてほしい。
委員	バイパス 208 号が良いのではないかと。道の周囲に、施設等が今後多く建設されるかと思うので、先手で規制をかけていくと、良好な景観を持ったまちを形成することができるのではないかと。
委員	重点とは、どのくらいの規制を指すのか。
事務局	建物、工作物を建てる際の届出等を必要とするが、建築物・工作物等の規制の強さは、

	その目的や地区によって変わってくる。その内容を今後決めていく。
委員	みせる場づくり、意識づくり、担い手づくりの3つの中からみせる場づくりで地区を設定すると考えたときに、例えば山の上でも重点地区に設定できるのか等、どこまでの範囲を設定できるのか、基準を整理していただいて、示してもらえるとわかりやすい。
事務局	皆さんからご意見を頂きたいのは、「何を守りたいのか」という点。山自体を守りたいのか、山から見る眺望を守りたいのかで、内容は変わってくる。眺望となると、視点場を設定しないと決定ができない。桜島では城山公園からみた、一定の範囲を定めている。まずは、何を守るかを決めていただきたい。
委員	天水は、月に2回、清掃活動が行われる等、あえて景観規制をする必要がない地区であると思う。高瀬等に規制をかけることが良いかと思う。また、景観という視点もあるが、まちを良くするという視点も必要になると思う。景観計画を策定したからといって、景観まちづくりがすぐさま推進されるわけではないと思う。景観に意識を向けてもらい、景観をつくりあげていくことが大切になる。
委員	県の屋外広告物条例では、新幹線では、新幹線路線が見える範囲の左右200m、国道208号は200m、商業施設のないエリアは左右100mの範囲を指定している。高瀬はみえる範囲をゾーニングして条例化する等が良いのではないかと。
委員	景観は規制が全面に押し出されるが、高瀬に関しては、既に十分な取り組み、景観形成がなされている。玉名の重点地区は、「ほめてあげる」重点地区にするのはどうか。おすみつきを与えるものでなく、みんなで景観を考えるルールづくりをする所を決めるといった視点だと思う。これについては、景観づくりに取り組んで見たい場を広く募集するのはどうか。そこに住んでいる、やる気のある人々にやってもらうのが一番良いと思う。
事務局	他の市民の方々がどのように考えているか、意向を把握する必要がある。何かしら、ワークショップや景観プレゼンテーションのような場を儲けられたら良いと思う。
委員	新しい玉名市の景観づくりに取り組む団体に補助が付く、ボランティア団体を補助して支援する等、景観づくりの機運を高めるような動きにしていくほうが良いと思う。景観を守ることが、活力に繋がり、玉名らしさが磨かれる活動に金銭的支援を行うといった取り組みがあっても良いと思う。
委員	伊倉と大浜にはまちなみが残っているので、景観準備地区に良いのではないかと。重点地区に関しては、玉名市がおもてなしの景観としてつくりあげる上で、高瀬が適当だと考えている。観光客が増加するような仕組みづくりが必要。
委員長	私が関わっている地域で、ある程度景観が保たれていた地域があったが、ある日、携帯会社の鉄塔が建った。景観の規制・仕組みという、雁字搦めのような印象を受ける。高瀬など規制が厳しいイメージがあると思うが、ハードルはそこまで高くないと考えている。思ってもみないものが建つということがないようにする仕組みだと思う。菊池川の話が多く出ているが、そういった景観の骨格となるようなものを守る、時間に頼るようなものにして欲しいと考えている。その後の生活の価値となるようなものとして捉えて欲しいと思う。大浜や伊倉は景観準備地区では難しいかもしれないが、関連地域とい



う位置づけで提示できればと思っている。もう少し意見が活発になれば良いと思う。石貫の集落についても屋根や外壁の色くらいは規制をかけても良いのではないかと思う。

## 5. その他

---

特になし

## 6. 閉会

---

(閉会あいさつ：記録省略)

以上